



## 継続性・発展性を実現する「ダイバーシティ経営」の実践

### 時間と空間の壁を超えた柔軟な働き方

生活廃棄物処理からスタートした同社の事業は時代と共に変化してきた。創業65年を超えた現在の主要事業は「環境分析・測定」、「インフラ施設維持管理」、「工業薬品等販売」、「廃棄物処理等環境保全」など多岐に亘っている。変わりゆく社会ニーズへ迅速に対応していける組織であり続けるため、同社はこれまでいくつかの画期的な取組を行ってきた。

そのような取組のまず1つ目は、「外国人材の積極的な雇用」である。初めて外国人従業員を雇用してから約27年の間、同社はさまざまな試行錯誤を行ってきた。具体的には、待遇や機会の日本人従業員との同等化、多言語マニュアル作成やメンタルケア等への配慮の実施である。2011年にはインドに子会社を設立。3時間半の時差を利用した効率的な業務連携により納期の短縮化も可能に。日本人従業員のグローバル意識の醸成も含め、外国人従業員は同社に欠かすことのできない戦力になっている。

また、環境エキスパートの育成を目的に、これまでに世界36ヶ国から1000名以上の外国人研修生受け入れを実施。日本人環境技術専門家をセミナー講師として多くの国に派遣する等の国際貢献活動も行ってきた。



同社の主要な取組の2つ目は、「キャリア継続のための勤務体系の導入」である。近郊の大都市への就職希望が多い地域性もあり、有能な従業員の確保は同社にとって喫緊の課題。中でも結婚、出産、育児、転居等のライフイベントに起因した退職は大きな損失であった。そのような課題に対応するため、それぞれの働き方に応じた柔軟な勤務体系を2014年に一部職種に導入した。

具体的には、ビデオ通話会議を活用しての在宅勤務、時差出勤制度を導入し、柔軟で選択肢の多い環境づくりを実現。2014年の在宅勤務や時差出勤制度の一部導入は、今回のコロナ禍における在宅・リモートワークのスムーズな実施においても大いに役立った。



結する取組である。

同社の社是は「社会立社 技術立社」。これは、「会社は社会に貢献しなければ存続できない。またそれを支える技術をもって初めて社会に貢献できる。」という意味であるが、同社はその社是を創業以来65年以上実践してきた。現状において、従業員個人取得の資格総数は2000件以上あり、同社の事業許認可数は90件にも及ぶ。これは各従業員が社会インフラに関わる使命を「やりがい」として認識しているということと共に、同社が65年以上試行錯誤してきた柔軟な働き方の実現が大きく寄与した結果であろう。

### 新卒3年目定着率:81.8%/ 女性育児休暇取得率:100%

前述のような取組の結果、同社の新卒3年目定着率は一般平均を大きく上回る81.8%であり、現在の女性従業員の育休取得率は100%となった。近年では、男性の長期育休取得者も輩出している。従業員不足がなかなか解消できないという同業他社も多くある中、同社の2021年4月の新規採用予定者数は、9名(大学・大学院卒)で毎年10名程度を維持している。このような注目に値する数字は同社の「継続性・発展性を実現するダイバーシティ経営」の実践が社内外に確実に浸透してきた成果であると言える。

### 社会インフラに関わるという使命

同社事業の多くは、社会インフラと大きく関わっている。したがって、「発展性」と「継続性」が極めて重要となる。同社は「環境問題に国境なし」というスローガンのもと、外国人材の積極的な雇用や育成を行ってきたが、これは同社が社会から求められてきた「発展性」に繋がる取組だとも言える。また、もう1つの「キャリア継続のための勤務体系の導入」は、社会が安定して求めるインフラ維持への貢献という「継続性」に直

### 企業情報

【業種】 環境保全サービス業 【資本金】 2,000万円 【従業員】 325名  
【所在地】 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地  
【HP】 <https://www.hiyoshi-es.co.jp/>

● **事業概要** 環境分析・測定事業、インフラ施設維持管理事業、工業薬品等販売事業、廃棄物処理等環境保全事業

● **各種アワード** 第1回渋沢栄一賞/2002年、将来世代応援企業賞/2019年、新・ダイバーシティ経営企業100選(滋賀県企業で初)/2017年、地域未来牽引企業/2017年、高度外国人材活躍企業50社/2018年

